

極域科学専攻

受入れ可能学生数: 若干名

授業科目	単位	授業科目の内容	担当教員	開講学期	曜日・時限	教室
極域複合科学概論	1	本講義では、わが国が南極、北極域で進めている科学観測がどのように始まり、国際的枠組みの中で、どのように発展してきたかを歴史的、社会的、設営工学的視点から述べ、極地というユニークなプラットフォーム上で、複合科学として発展してゆく姿を講述する。	極域科学専攻教員	前期	要問合せ	要問合せ
先端地球科学通論Ⅰ	2	極域科学全般に亘る国内外の研究現況について、各分野の先端的な課題を取り上げ講述する。	極域科学専攻教員	前期	要問合せ	要問合せ
先端地球科学通論Ⅱ	2			後期	要問合せ	要問合せ
地球計測学概論	2	極域の自然環境を把握するためには、人工衛星を用いた遠隔観測を始め、様々な地球物理学的観測手段が必要になる。また、長い人類の歴史のなかで、例えば時間や位置、距離などをどうやって測定し、どうやってその精度を高める工夫をこらしてきたかを知ることも有意義である。この授業では、各種地球物理学的測定(センサー)の歴史、現状、将来についての知識を得ることを目的としている。	土井 浩一郎	前期	要問合せ	要問合せ
宙空圏計測学	2	宙空圏(惑星間空間、磁気圏、電離圏、超高層大気、中層大気)の物理量の計測は、飛翔体による直接計測の他、電磁波などを用いた遠隔計測が多く用いられ、本質的に逆問題となっている。本講義では、宙空圏に関わる計測・逆問題の理論的骨格と、データ解析の基礎理論について講義する。	西村 耕司 富川 喜弘	後期	要問合せ	要問合せ
海洋生態学概論	2	海洋は、地球の表面のおよそ70%を占め、浅海から1万メートルをこえる深海まで広大な空間を生物に提供し、その活動を支える重要な場となっている。海洋生態系は、生態系の区分の中の最大のものであり、他のどの区分よりも大きな生活圏の空間を占めている。本講義では海洋のさまざまな環境における生物群集について紹介し、海洋環境と海洋生物の特徴について学ぶ。また、特に漂泳生態系を中心にそこでの生物活動、陸上生態系との違い、人間社会との関わり等広く基本的な事柄について講義する。なお、本講義の一部は夏季において現場(船上)での海洋観測法研修を実施することがある。	真壁 竜介	前期	要問合せ	要問合せ
大気・水圏の科学概論	2	地球の大気圏、雪氷圏、海洋圏における諸現象を理解するための基礎となる物理学・化学に関する事項を習得すると共に、極域で生じている諸過程と関連させて概説する。	榎本 浩之 藤田 秀二 牛尾 収輝 猪上 淳 外部講師	前期	要問合せ	要問合せ

【備考】

極域科学専攻専門科目については、本専攻において受講する学生がいない場合は、他大学院の学生または、総研大他専攻の学生から受講希望があっても開講しません。

共通専門基礎科目については、本専攻において受講する学生がいない場合についても、研究科内の他専攻の学生から受講希望があった場合は開講しますので、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

問合せ先:

〒190-8518 東京都立川市緑町10-3

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

本部事務局立川共通事務部

研究推進課大学院係

TEL: 050-5533-8645

E-MAIL: sokendai-kyokuiki@t.rois.ac.jp